

平成 22 年度 事業報告

本年度は、介護保険制度施行後 11 年目を迎え、過去の報酬改定の結果、事業所の収益悪化や介護人材離れのため、サービスの質の低下が懸念される状況になっている。そこで本会では、介護保険推進委員会を中心に、会員施設を対象に実施した各種の調査結果を踏まえて「会員の声」を、平成 24 年度の報酬改定に向けて 7 項目に整理して、国、関係国会議員等に要望・提言を行った。また、平成 23 年度兵庫県予算における高齢者福祉関係項目について、知事、県議会、担当課等に要望を行った。

本会の目的である高齢者及びその家族の日常生活の支援を図るために行っている調査研究、従事者の研修・育成、事業の経営運営の改善、連絡調整などを引き続き 7 委員会、3 部会体制で、事業計画に定められた以下の重点項目に沿って事業を推進した。

- 1 介護保険制度への的確な対応
- 2 特色ある部会活動の強化
- 3 サービスの質の向上、利用者主体のサービス提供
- 4 情報発信を中心とした公益的事業の推進

詳細については、次ページ以下のとおりである。

本年度は特に、介護職員処遇改善交付金に関して、県から委託を受けて、交付要件であるキャリアパスの周知とその普及・定着を図るため講習会を開催したほか、医療行為を必要とする利用者の増加等に対応するため県の助成を受けて、特別養護老人ホームにおける介護職員と看護職員による連携協働のための研修を実施した。

また、「LSA 活動強化事業」、「夜間・休日安心ほっとダイヤル開設事業」を引き続き県から受託して、シルバーハウジング等に入居している高齢者の介護予防・生活支援並びに援助者である LSA の活動支援を行った。

新公益法人法への対応については、正副会長会議で対応を協議検討するとともに、所管庁との協議やワーキング部会として設置した「法人のあり方検討委員会」による移行手続きの整理、諸規程の整備など移行準備を進めた結果、平成 24 年 4 月に一般社団法人への移行を目指すことを、3 月の第 18 回総会で報告した。

なお、兵庫県福祉センターの建て替えに伴い、平成 23 年 1 月 24 日に新兵庫県福祉センターの 6 階に事務所を移転した。これに併せて、事務局機能の向上を図るため室内の間仕切り工事や通信機器等の更新・整備を行った。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は宮城県、岩手県、福島県を中心に広範囲に甚大な被害をもたらし、多くの老人福祉施設が大きな被害を被った。特に、福島第 1 原子力発電所事故については、その後も、被害の拡大が続いている。

本会では、震災発生後速やかに、義援金募集について会員に協力の依頼をしたほか、関西広域連合の兵庫県の分担地域（宮城県）に応じて、県と連携して要介護避難者の受け入れや会員施設職員の現地への派遣調整について、宮城県からの要請に備えた。

1. 各種委員会・部会報告

① 介護保険推進委員会

本年度は、平成 24 年度報酬改定に向けて会員事業所（特養・ショート）の意向調査と平成 21 年度・22 年度のショート（空床を含む）の利用状況調査の実施や施設運営・経営状況等の課題を整理し、厚生労働省・国会議員に対し提言を行った。また、兵庫県選出の国会議員等の方と介護保険に関する勉強会を行った。その状況は、本会機関紙「かけはし」の号外として発行した。

研修については、兵庫県の受託事業として介護職員処遇改善交付金のキャリアパスに関する講習会を開催し、事業所におけるキャリアパスの仕組みの普及・定着を図った。

また、介護保険に関する相談窓口を設置し、県民からの介護保険制度の利用に対する相談に応じた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護保険 推進委員会 (4回)	6月15日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 平成 21 年度事業報告について 2. 平成 22 年度事業について 3. その他	県老協 8名
	8月26日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 平成 24 年度報酬改定に向けての第1回調査について(まとめ) 2. その他 ・報告事項:キャリアパス要件に関する講習会 開催事業	県老協 8名
	11月1日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 次期介護報酬改定に向けての要望及び提言 2. 民主党との政策懇談会について ・役割・資料確認等 3. その他	県老協 10名
	2月1日	県福祉センター	〈報告事項〉 1. 次期介護報酬改定に向けての要望及び提言 〈協議事項〉 1. 平成 23 年度事業計画について 2. その他	県老協 8名
政策懇談会	11月6日	ラッセホール	1. 次期介護報酬改定に向けての要望及び提言 2. 意見交換 衆議院議員 向山好一氏 衆議院議員 土肥隆一氏 衆議院議員 梶原康弘氏 衆議院議員 岡田康裕氏 衆議院議員 山口 壮氏 衆議院議員 浜 本 宏氏 衆議院議員 室井秀子氏 参議院議員 水岡俊一氏 参議院議員 辻 泰 弘氏	県老協 9名 国会議員 9名他
キャリアパス 要件に関する 講習会 (2回)	7月21日	丹波の森 公苑ホール	テーマ 『キャリアパス要件 活用のポイント ～ただの届出で終わらせないために～』 株式会社エイデル研究所 福祉経営支援部 部長 小林雄二郎氏	700名
	8月2日	神戸国際会館 こくさいホール		2,100名
調査研究事業	第1回		平成 24 年度の報酬改定(特養・ショート)に向けての調査	
	第2回		平成 24 年度の報酬改定に向けての調査(平成 21 年度・22 年度ショートステイのベッド利用状況)	

② サービス評価委員会

会員の特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に、本年度も15施設と再評価2施設を訪問し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書にまとめ一般に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
班長会議	4月12日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サービス評価事業について <ul style="list-style-type: none"> ・ 班長の役割について ・ タイムスケジュールについて ・ 委員の心得について 2. 平成22年度のサービス評価事業のあり方 <ol style="list-style-type: none"> ① 委員の変更・班構成 ② 平成22年度サービス評価実施施設 ③ 本年度のすすめ方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施施設説明会 ・ 再評価実施施設説明会 ・ 委員勉強会 3. サービス評価希望項目について 4. 平成21年度サービス評価事業の報告書について 5. その他 	4名
実施施設説明会	6月4日	県福祉センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年度サービス評価実施施設の紹介 2. サービス評価事業概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス評価事業実施要綱 ・ サービス評価委員名簿 ・ 当日タイムスケジュール <p>【事前提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設データ 職員状況(常勤・非常勤、男女) 利用者の状況 サービス評価希望項目 <p>【実施後提出資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス評価事業実施施設所感文 サービス評価事業総括票 <ol style="list-style-type: none"> 5. 実施視察日程調整について 6. 質疑応答 7. その他 	15施設 39名

再評価 実施施設 説明会	6月4日	県福祉センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施施設の紹介 2. 概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 再評価事業のあり方について 5. 事前資料などの提出について <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス評価事業実施要綱 ・ サービス評価委員名簿 ・ 当日タイムスケジュール <p>【事前提出資料】</p> <p>施設データ 職員状況(常勤・非常勤、男女) 利用者の状況 サービス評価希望項目</p> <p>【実施後提出資料】</p> <p>サービス評価事業実施施設所感文 サービス評価事業総括票</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 実施視察日程調整について 7. 質疑応答 8. その他 	2施設 5名
サービス 評価事業 委員勉強会	8月3日	県福祉センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員・事務局紹介 2. サービス評価事業について 3. 実施調査日並びに実地視察タイムスケジュールについて 4. 資料の確認方法について <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前資料(現状・課題)の確認方法について ・ 報告書の作成について ・ 理念の位置づけについて ・ 委員の心得について 5. 各職種別意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各評価項目確認について統一すべきポイント ・ 実施視察において統一すべきポイント 	21名
評価事業 実施施設	9月～2月	各実施施設	鶴林園・ちくさの郷・はまさかの里・若狭野の里・ 西はりまグリーンホーム・ハピネス川西・ グリーンホーム三木・ふたばの里・やすらぎ園・ どんぐりの里・メヌエット東館・さざんかの郷・ ゼフィール三田・博寿苑・あさなぎ 〔再評価施設〕 こすもす倶楽部・緑風館 (サービス評価実施報告書参照)	17施設
総括会議	3月14日	県福祉センター	<協議事項> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年度サービス評価事業について <ol style="list-style-type: none"> ① 平成22年度サービス評価事業公表まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・ 特徴的なサービス事例 ・ 実施施設「良い現状」事例 ・ 実施施設全体の総評(班長) ② 再評価実施施設のまとめ 2. その他 	22名
発行物	「サービス評価事業報告書ー平成22年度版ー」 (種別)冊子 700部 (配布先)会員施設、関係団体、一般			

③ 拘束なき介護にむけての検討委員会

本年度は、「理解から実践への支援」をテーマに、各会員施設での拘束なき介護にむけての取り組みに対して、直接的な支援を目的に昨年度と本年度の2カ年連続受講形式の職員研修会を開催した。公開シンポジウムについては、「拘束なき介護にむけての取り組み実践報告フォーラム」として、職員研修会参加施設からの実践報告やディスカッションを通じ、福祉関係者はもとより、広く県民とともに、利用者の人権を尊重した施設サービスについて共に考える機会として開催した。

また、会員施設の各職種職員を対象に、施設における高齢者虐待の実態や虐待が発生する要因等についての意識調査を実施した。その結果は、平成18～20年度の3カ年実施した「拘束なき介護にむけての取り組み経年変化調査結果」とともに本委員会活動報告書にまとめた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
拘束なき介護にむけての検討委員会(8回)	4月16日	県福祉センター	<報告事項> 1. アドバイザー派遣事業について <協議事項> 1. 経年変化調査調査集約作業・平成21年度職員研修会記録集約作業 2. 平成22年度スケジュール・役割分担について 3. 高齢者虐待調査について 4. その他	7名
	5月19日	センタープラザ西館	<報告事項> 1. 平成21年度事業報告について <協議事項> 1. 経年変化調査調査集約作業・平成21年度職員研修会記録集約作業 2. 職員研修会について 3. 高齢者虐待調査について 4. その他	8名
	7月16日	県福祉センター	<協議事項> 1. 経年変化調査調査集約作業・平成21年度職員研修会記録集約作業 2. 職員研修会について 3. 高齢者虐待調査について 4. シンポジウムについて 5. その他	6名
	10月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 経年変化調査の集約について 2. 職員研修会について 3. シンポジウムについて 4. 高齢者虐待調査について 5. 活動報告書について 6. アドバイザー派遣事業について 7. その他	8名
	10月22日	県福祉センター	<協議事項> 1. 職員研修会について 2. 経年変化調査について 3. シンポジウムについて 4. アドバイザー派遣事業について 5. その他	8名

	12月1日	県福祉センター	<報告事項> 1. 職員研修会について 2. アドバイザー派遣事業について <協議事項> 1. シンポジウムについて 2. 経年変化調査報告について 3. 高齢者虐待調査について 4. 平成23年度事業計画について 5. その他	9名
	2月2日	県福祉センター	<報告事項> 1. アドバイザー派遣事業について <協議事項> 1. シンポジウムについて 2. 高齢者虐待調査について 3. その他	8名
	3月11日	県福祉センター	<報告事項> 1. シンポジウムについて <協議事項> 1. 高齢者虐待調査について 2. 経年変化調査について 3. 平成23年度事業計画について 4. その他	7名
高齢者虐待に関するアンケート調査			調査実施時期:8月 調査回答事業所数:258 施設 調査対象事業所数:334 施設	
拘束なき介護にむけての職員研修会	10月22日	県福祉センター	グループディスカッション 発表 研修会のまとめ 拘束なき介護にむけての検討委員会委員長 出口博久氏	89名
拘束なき介護にむけてのシンポジウム	2月18日	県福祉センター	『拘束なき介護にむけての取り組み実践報告フォーラム』 実践報告① 特別養護老人ホームさぎそう園 実践報告② 特別養護老人ホームペーパームーン 実践報告③ 特別養護老人ホームひまわり荘 ディスカッション 実践報告④ 養護老人ホームさつき園 実践報告⑤ デイサービスセンター志染 実践報告⑥ 朝陽ヶ丘荘 ディスカッション	167名
拘束なき介護にむけてのアドバイザー派遣事業	9月27日	宝塚あいわ苑	施設内職員研修会講義	
	11月25日	甲寿園	施設内職員研修会講義	
発行物	①「拘束なき介護にむけての検討委員会活動報告書」 (種別)冊子 500部 (配布先)会員施設、関係団体			

④ 調査研究委員会

兵庫県介護サービス情報公表システムの公表情報と、その他養護・軽費老人ホームに対して実施した調査情報を分析・研究した結果を機関紙に掲載するとともに、ホームページ上に一般公開することにより、県民や施設を利用する要援護高齢者から期待される施設づくりの一助とした。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
調査研究 委員会 (5回)	5月14日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成21年度事業報告について 2. 兵庫県介護サービス情報公表システムから見る 県内の動向について <協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 調査内容及びスケジュールについて 3. その他	8名
	7月2日	県福祉センター	<協議事項> 1. マンパワーの確保と定着率の調査について ・ 調査項目の決定 ・ 調査対象事業所の決定 2. かけはしダイジェスト版について 3. その他	8名
	8月18日	県福祉センター	<協議事項> 1. マンパワーの確保と定着率の調査について 2. その他	5名
	11月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. マンパワーの確保と定着率の調査について 2. その他	7名
	12月3日	県福祉センター	<協議事項> 1. マンパワーの確保と定着率の調査について ・ グラフの内容確認 ・ 平成23年度用調査表 2. 事業計画について 3. その他	5名
発行物	「兵庫県介護サービス情報公表システムから見る県内の動向について～調査研究委員会の活動報告～」 (種別)機関紙:各1,000部 (時期)7月 (配布先)会員施設、関係団体			

⑤ 編集委員会

会員施設が実施している事業やサービスの内容等を広く県民に情報発信するとともに、会員相互の情報や意見の交流を目的として機関紙「かけはし」を発行・配布し、併せてホームページ上に掲載した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
編集委員会 (3回)	6月14日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし73号について 2. 平成21年度事業報告について <協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 平成22年度かけはしについて ① 内容について ② 発送先について ③ 業者について 3. その他	8名
	9月10日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし75号特集取材について <協議事項> 1. かけはし76号について 2. その他	8名

	12月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし75号について 2. かけはし号外76号について <協議事項> 1. かけはし77号について 2. かけはし業者について 3. 平成23年度事業計画について 4. その他	9名
発行物	「かけはし」74号・75号・77号(76号は号外) (種別)機関紙:各1,000部 (時期)7月・11月・3月 (配布先)会員施設、関係団体			

⑥ ケアプランリーダー養成・派遣事業委員会

本委員会は、改訂版テキスト「介護老人福祉施設 包括的自立支援プログラム」をもとに、会員施設における「ケアプランの作成の理念」並びに「包括的自立支援プログラムの特長と作成手順」の理解を目的に、『ケアプラン基礎研修会(講義編)』を開催するとともに、「講義編」を踏まえ、各ブロックと連携して『ケアプラン基礎研修会(事例演習編)』を実施した。併せて各ブロック研修会への『講師派遣事業』を推進した。

また、ICFの概念に基づく包括的自立支援プログラムの展開の理解を目的にケアプラン研修会(ICF概念編)を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン リーダー 養成・派遣 事業委員会 (4回)	4月27日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成21年度事業報告について <協議事項> 1. 平成22年度事業スケジュールについて 2. ケアプラン作成に係る会員施設実態調査について 3. ケアプラン基礎研修会(講義編)について 4. ケアプラン基礎研修会(事例演習編)について 5. その他	7名
	7月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. ケアプラン基礎研修会(講義編)について 2. ケアプラン基礎研修会(事例演習編)について 3. ケアプラン研修会(ICF概念編)について 4. ケアプラン作成に係る会員施設実態調査について 5. 共通事例について 6. その他	8名
	12月21日	原田の森 ギャラリー	<報告事項> 1. ケアプラン基礎研修会(講義編)について 2. ケアプラン基礎研修会(事例演習編)について <協議事項> 1. ケアプラン研修会(ICF概念編)について 2. ケアプラン作成に係る会員施設実態調査について 3. 平成23年度事業計画について 4. その他	5名
	3月15日	県福祉センター	<報告事項> 1. ケアプラン研修会(ICF概念編)について <協議事項> 1. ケアプラン作成に係る会員施設実態調査について 2. 平成23年度事業計画・スケジュールについて 3. 平成23年度ケアプラン研修会共通事例について 4. その他	9名

ケアプラン作成に係る会員施設実態調査			調査実施時期:6月 調査回答事業所数:161 施設 調査対象事業所数:196 施設	
ケアプラン 基礎研修会 (講義編)	7月29日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念 ～ケアの意味、ケアの視点として～』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム西はりまグリーンホーム 財津直樹氏 説明『共通事例概要・留意事項』 洲本特別養護老人ホームラガール 佐野由美子氏	66名
	8月26日	かいばら 生涯学習の森	講義①『ケアプラン作成の理念について ～理念に捉えたいケアの視点とは～』 特別養護老人ホーム出石荘 池田和揮氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームあそか苑 保田浩二氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム松寿園 大槻寿美氏	40名
	9月30日	姫路市民会館	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームあそか苑 保田浩二氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム松寿園 大槻寿美氏	49名
※詳細は、平成22年度ブロック研修助成事業報告書参照				
ケアプラン 基礎研修会 (事例演習編)	ブロック	実施日	場所	参加人数
	阪神	10月14日	K-maison ときめき	27名
	東播磨	10月14日	小野市うるおいエクラ	28名
	姫路	11月13日	姫路商工会議所	19名
	西播磨	11月12日	赤とんぼ荘	30名
	但馬	9月29日	但馬長寿の郷	15名
	丹波	10月14日	柏原生涯学習の森	21名
	淡路	11月22日	洲本健康福祉館	27名
ケアプラン 研修会 (ICF概念編)	1月27日	県福祉センター	講義『ICFの概念の“包括的自立支援プログラム(アセスメントツール)”について』 特別養護老人ホーム出石荘 池田和揮氏 共通事例演習	40名
委員派遣 事業	10月14日	小野市 うるおい交流館 エクラ	【東播磨ブロックケアプラン研修会】 講義『共通事例を振り返って ケアプラン作成における留意点』 特別養護老人ホームこぶし園 邊見 豊氏	
	11月13日	姫路商工会議所	【姫路ブロックケアプラン研修会】 講義『共通事例を振り返って ケアプラン作成における留意点』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見 豊氏	

	12月8日	但馬長寿の郷	【但馬ブロックケアプラン研修会(応用編)】 『包括的自立支援プログラムの理念と作成手順について 自施設ケアプラン(事例)を通して』 特別養護老人ホームこぶし園 施設長 邊見 豊氏
--	-------	--------	---

⑦ 研修委員会

会員施設のニーズを基本とした専門的かつ内容の充実した研修事業について、また、広く会員外への研修事業についても企画検討し開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修委員会 (3回)	5月18日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成21年度事業報告について 2. 介護支援専門員受験準備講習会について <協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 年間スケジュールについて 3. 各種研修会について 4. その他	5名
	8月25日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護支援専門員受験準備講習会について 2. 介護の日シンポジウムについて 3. 職員研修会について <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. その他	6名
	12月7日	県福祉センター	<報告事項> 1. 職員研修会について 2. 介護の日シンポジウムについて <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. 平成23年度事業計画について 3. その他	6名
介護支援 専門員受験 準備講習会	8月7日 ～8日	県福祉センター	【1日目(8月7日)】 『介護保険サービス』 本多聞高齢者介護支援センター 主任ケアマネジャー 友清正雄氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識①』 西江井島病院 院長 藤原仁志氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識②』 長田ケアホーム 施設長 山内賢治氏 【2日目(8月8日)】 『介護保険制度と介護支援』 京都市嵐山地域包括支援センター センター長 真辺一範氏	総数 108名 (会員85名、 非会員23名)
職員研修会	10月13日	県福祉センター	『自分力UPの会話術』 夢こらぼ 主宰 松尾やよい氏	81名
介護の日 シンポジウム	11月11日	兵庫県農業会館	『心に向き合う仕事 ～認知症ケアをとおして～』 グループホームふぁみりえ ホーム長 大谷るみ子氏 『認知症に負けない!!』 足立昭一氏・足立由美子氏 進行:神戸常盤大学保健科学部看護学科 教授 柳本有二氏	312名

施設長 研修会	3月1日 ～2日	ANA クラウンプラザ ホテル神戸	<p>【1日目(3月1日)】</p> <p><基調報告> (社)兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳氏 『特別養護老人ホームにおける介護職員の たん吸引等について』 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課 高年施設係長 向田憲司氏</p> <p><講演> 『これからの介護サービス これからの介護経営者』 (株)エルダーサービス 代表取締役 芳賀祥泰氏 『より良い人間関係のために ～ココロをひもとく3・5・7の法則～』 心理カウンセラー／マーベルハート主宰 太田夏江氏</p> <p>【2日目(3月2日)】</p> <p><講演> 『情熱と感動の仕事術』 (株)ホスピタリティ・ブランディング 取締役社長 永末春美氏 『社会福祉法人組織運営のあり方』 (社)兵庫県老人福祉事業協会 顧問 花房幸一氏</p>	109名
------------	-------------	-------------------------	---	------

⑧ 養護部会

本部会では、利用者が自立した日常生活を営み、社会的活動に積極的に参加し充実した生活を実現する為、ソーシャルワークを踏まえた養護老人ホーム本来の役割・機能について検討するとともに、特定施設や個別契約型等の新養護老人ホームでの利用者主体の質の高いケアの実現に向け委員会・研修会を開催した。また、平成22年度は、調査研究事業として実態調査を実施し、施設運営の課題についての調査研究を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 (3回)	6月9日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 平成23年度予算対策について 3. その他	3名
	7月12日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成22年度事業について 研修会の開催について 調査について 平成23年度予算対策について 2. その他	3名

	1月13日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成23年度事業計画について 2. 調査について 3. 施設長研修会について 4. その他	4名
新型養護ケアプラン(パッケージプラン)研修会～基礎編～	9月3日	県福祉センター	講義・演習 『パッケージプラン研修会～基礎編～』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	29名
新型養護ケアプラン(パッケージプラン)研修会～習熟編～	11月25日～26日	県福祉センター	【1日目】 講義・演習 『養護老人ホームパッケージプランについて～習熟編～』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	29名
		原田の森ギャラリー	【2日目】 講義・演習 『養護老人ホームパッケージプランについて～習熟編～』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	
職員研修会	11月18日	県福祉センター	『精神障害を持つ高齢者への支援』 佛教大学 保健医療技術学部 作業療法学科 教授 漆葉 成彦氏	49名 (養護36名)
施設長研修会	1月18日	兵庫県県民会館	講義『大規模修繕・補助金について』 兵庫県健康福祉部高齢社会課高年施設係 係長 向田 憲司氏 報告『養護部会報告』 養護部会長 細谷琢郎氏 講義『養護老人ホーム今後の役割(可能性)について』 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留 志郎氏	32名

⑨ 軽費・ケアハウス部会

モデル管理規程等を改訂するとともに、本年度も軽費・ケアハウス部会の特色を出すためのテーマを設定し、職員研修会及び施設長研修会を実施した。

また、軽費老人ホーム事務費補助金の一般財源化に伴う予算確保については、本年度も引き続き予算要望を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
軽費・ ケアハウス 部会 (3回)	6月18日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成21年度事業報告について <協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 平成23年度予算要望について 3. 各種研修会について 4. 「軽費老人ホーム・ケアハウスモデル管理規定・契約書・利用案内・書類関係一式などー」の見直しについて 5. その他	4名
	7月16日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成23年度予算要望について <協議事項> 1. 各種研修会について 2. 「軽費老人ホーム・ケアハウスモデル管理規定・契約書・利用案内・書類関係一式などー」の見直しについて 3. その他	4名
	2月2日	県福祉センター	<報告事項> 1. 委員選出について <協議事項> 1. 部会長・副部会長の選出について 2. 平成23年度事業計画について 3. その他	5名
職員 研修会	10月26日	県福祉センター	『脳はともだち 人生100歳！ ～認知症予防として回想療法～』 認知症予防教室「一輪会」 田中孝史氏	34名
施設長 研修会	12月9日	県福祉センター	『問題発生！その時の対処方法は？』 弁護士 真下美由起氏	37名
施設長会	12月9日	県福祉センター	<議案> ①内規の変更(案)について ②軽費・ケアハウス部会役員改選(案)について	55名
発行物	「軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準及び利用料等に係る取り扱い指針」 (種別)冊子100部 (配布先)本会施設			

⑩ デイ部会

本部会では、会員事業所の意向調査をし、兵庫県あて予算要望並びに、介護報酬改定にむけての要望事項を取りまとめ、国・県へ要望を実施した。

また、部会企画の研修会については、意向調査の意見をもとに施設長、職員の共通認識を図ることを目的に「デイサービスセンターに求められるニーズ」について共通プログラムで開催した。加えて、職員研修会では「デイサービス・老人福祉施設における介護・看護の連携」をテーマに、同一事業所から介護職員・看護職員が参加し、「チームケア」について共に考える機会として開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
デイ部会 (5回)	4月23日	姫路市 自治福祉会館	<報告事項> 1. 平成21年度事業報告について <協議事項> 1. 平成22年度事業スケジュールについて 2. 平成23年度予算要望について 3. 各研修会について 4. その他	4名
	7月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 会員意向調査結果について 2. 平成23年度予算要望について 3. 第1回職員研修会について 4. 第2回職員研修会について 5. 施設長研修会について 6. その他	5名
	10月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. 介護報酬改定にむけての意見提出について 2. 役員改選・施設長会について 3. その他	5名
	1月12日	原田の森 ギャラリー	<報告事項> 1. 介護報酬改定にむけての意見提出について 2. 第12回職員研修会について <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. 施設長会について 3. 平成23年度事業計画について 4. その他	5名
	3月10日	県福祉センター	<報告事項> 1. 施設長研修会について <協議事項> 1. 平成23年度事業計画について 2. その他	5名
職員 研修会 (2回)	8月19日	県福祉センター	講義・グループディスカッション 『デイサービスセンター・老人福祉施設における 介護看護の連携』 特別養護老人ホーム清華苑 看護介護養育長 小村一左美氏	97名
	10月6日	県福祉センター	演習『頭を使う!!』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏 講義①『今 改めて考えてみよう！ デイサービスセンターに求められるニーズとは？』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏 講義②『認知症ケアを考える…アートワークをとおして』 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法士科 講師 竹内さをり氏	96名
施設長 研修会	1月12日	原田の森 ギャラリー	講義『今、デイサービスセンターに求められる ニーズとは？』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏	72名

2. 情報発信事業

本会において実施している事業並びに県内の老人ホーム等が実施している事業やサービス内容等を会員施設及び広く県民に情報発信することを目的に、下記報告書等を発行するとともに、本会ホームページ上で公開した。

事業名	時 期	配布先	内 容	部 数
かけはし	7月・11月 3月	会員施設 関係団体	かけはし 74号～77号(76号は号外)を発行し、会員施設並びに関係団体へ配布し、併せてホームページ上に掲載した。	各 1,000部

兵庫県介護サービス情報公表システムから見る県内の動向について	7月	会員施設関係団体	「兵庫県介護サービス情報公表システムから見る県内の動向について～調査研究員会の活動報告～」平成 19 年度から行っている調査についてホームページ上に掲載していたもののダイジェスト版を作成し配布した。	各 1,000 部
マンパワーの確保と定着率の調査(プレ調査)		回答施設	来年度に向けての試案とし、「マンパワーの確保と定着率の調査」について、プレ調査を行い、回答施設へ集計結果を配布した。	27 部
サービス評価事業報告書	年1回	会員施設関係団体	自己評価支援を行った 15 施設と再評価 2 施設の客観的な評価結果を報告書にまとめ、広く会員施設並びに関係団体、一般に配布した。	700 部
拘束なき介護にむけての検討委員会活動報告書	年1回	会員施設関係団体	平成 21 年・22 年度の本委員会における活動をまとめ、会員施設での拘束なき介護にむけての一助として報告書を作成し配布した。	500 部
ケアプラン作成に係る会員施設実態調査	年 1 回	会員施設 本会ホームページ	会員施設における“ケアプラン作成について”の実態調査の結果を報告書にまとめ、本委員会の運営やケアプラン研修会の企画等に反映するとともに、会員施設へ情報提供し、本会ホームページ上で一般へ公開した。	335 部
情報発信事業	随時	本会ホームページ	本会ホームページにおいて会員施設に各種情報を提供するとともに、本会の事業内容や会員施設の情報等を広く県民に提供した。	随時

3. 国・県への政策提言・関係諸団体との連絡事業

本会の組織運営にあたり、行政・各関係団体との連携を強化し、予算対策活動を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
国・県予算対策事業(要望書の提出)	8月30日	公明党県連	公明党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成 23 年度予算に向け要望を行った。	1名
	8月31日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成 23 年度予算に向け要望を行った。	2名
	9月14日	県庁・県議会	兵庫県・兵庫県議会に対し、老人福祉施設の積極的な整備の促進など平成 23 年度予算に向け要望を行った。	9名
	9月24日	知事	兵庫県知事に対し、老人福祉施設の積極的な整備の促進など平成 23 年度予算に向け要望を行った。	3名
要望書に対する報告会	2月16日	県庁	平成 23 年度予算要望についての報告会を開催し、兵庫県より報告を受けた。	8名
	3月15日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、平成 23 年度政策要望に係る報告及び意見交換会を行った。	2名

次期介護報酬改定に向けての要望及び提言	12月9日	東京	『次期介護報酬改定に向けての要望及び提言』 (接見した方) 厚生労働副大臣 藤村修氏 参議院国家対策副委員長 武内則男氏 厚生労働省老健局長 宮島俊彦氏 他8人 (要望書提出) 厚生労働大臣 細川律夫氏 他6人 ※かけはし76号 号外により状況報告	5名
---------------------	-------	----	---	----

4. その他の事業

① 表彰・感謝事業

県内の各事業所に従事する職員等で、事業所に10年以上勤務し顕著な功績のあった者等に対して、本会総会において表彰し、感謝の意を表した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容
表彰 感謝	6月28日	ホテル北野プラザ 六甲荘	10年勤続職員 117名 退職施設長:小山嘉弘氏

② ブロック助成事業

各ブロックにおけるケアプランについての研修実施に対し、本会からブロック研修助成金を交付した。
(平成22年度ブロック研修助成事業報告書参照)

③ 青年部会運営助成事業

社会福祉法人や老人福祉施設の次代を担う人材を育成することを目的に設置された青年部会の事業推進に対し、本会から事業助成金を交付した。
(平成22年度青年部会運営助成事業報告書参照)

④ 高齢者福祉事業に関する連絡調整事業

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
近畿老人福祉施設研究協議会《京都大会》への参加	7月22日 ～23日	京都国際会館 他	【1日目】[全体会] 〈情勢報告〉 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏 〈基調講演〉 『今、問い直す社会福祉基礎構造改革10年』 神奈川県立保健福祉大学 教授 河 幹夫氏 〈記念講演〉 『我が野球人生』 東北楽天ゴールデンイーグルス名誉監督 京都府京丹後市名誉市民 野村克也氏 【2日目】[分科会]	125名

<p>全国老人福祉施設研究会議《富山会議》への参加</p>	<p>11月15日 ～16日</p>	<p>富山市 総合体育館 他</p>	<p>【1日目】〔全体会〕 <基調報告> 『現場発信による介護保険制度見直しを！』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏</p> <p><行政講演> 『地域包括ケアにおける特養ホームへの期待』 厚生労働省 老健局長 宮島俊彦氏</p> <p><特別報告> 『介護新時代 ～押し寄せる団塊世代の高齢者～』 参議院議員・全国老施協 常任顧問 中村博彦氏</p> <p><記念講演> 『いのちのバトンタッチ ～映画「おくりびと」に寄せて～』 作家 青木新門氏</p> <p>【2日目】〔分科会〕</p>	<p>41名</p>
<p>全国老人福祉施設大会《北海道大会》への参加</p>	<p>10月20日 ～22日</p>	<p>札幌 コンベンション センター 他</p>	<p>【1日目】〔開会式、全体会〕 <基調報告> 『介護保険制度見直しに向けて～全国老施協の課題』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏</p> <p><講演Ⅰ> 『福祉経営の課題 ー制度内事業体として生き残るためにー』 日本社会事業大学 専務理事 宇野 裕氏</p> <p><講演Ⅱ> 『2025年介護社会を展望する 在宅介護重視政策に未来はあるか？』 精神科医 和田秀樹氏</p> <p><特別報告> 『介護新時代 ～押し寄せる団塊世代の高齢者～』 参議院議員・全国老施協 常任顧問 中村博彦氏</p> <p>【2日目】〔分科会〕 【3日目】〔シンポジウム・閉会式〕 <シンポジウム> 『アジアの人たちとの共同介護』 ・日本の介護に挑む～インドネシア、フィリピン介護士候補者～ ・多文化共生と共同介護～受入れ現場から～ ・日本語教育、介護士国家試験対策の課題 ・外国人労働者の受入れ、EPAの課題と展望</p>	<p>28名</p>
<p>近畿老人福祉施設協議会施設長研修会への参加</p>	<p>9月29日 ～30日</p>	<p>ホテル日航奈良</p>	<p>【1日目】〔開会式、講演〕 <講演> 『介護保険10年とその未来』 龍谷大学社会学部 地域福祉学科 教授 池田省三氏</p> <p><記念講演> 『福祉の〈こころとかたち〉』 奈良県立万葉文化館 館長 文化功労者 中西 進氏</p> <p>【2日目】〔対談〕 <対談> 『ひらめきから実践へ～本物であることの重要性～』 株式会社読売奈良ライフ 代表取締役 朝廣佳子氏 近畿・奈良県老人福祉施設協議会 会長 辻村泰範氏</p>	<p>17名</p>

⑤ 災害支援・義援金活動

チリ地震により被災した地域に対し、神戸新聞厚生事業団を通じ義援金を贈った。また、3月11日に発生した「東日本大震災」については、極めて広域で甚大な被害が生じていることに鑑み、会員事業所に対し義援金を募集し被災地の支援を行った。

事業名	時期	事業内容
義援金活動	5月25日	平成22年2月27日発生のチリ大地震被災地へ義援金を贈った。 チリ大地震兵庫県義援金募集委員会あて 100,000円
義援金募集活動	3月14日～	「東日本大震災義援金」の募集を会員事業所を対象に実施し、平成23年度も継続して募集を行う。 会員事業所、利用者の方等から寄せられた義援金 159件 7,048,744円(平成23年3月31日現在)

5. 法人運営

その他法人の運営に関することについて協議するため開催した。

事業名	実施日	場所	事業内容	参加人数
第17回総会	6月28日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<議案事項> 第1号議案 平成21年度事業報告(案) 第2号議案 平成21年度収支決算(案) 第3号議案 平成22年度事業計画の一部変更(案) 第4号議案 平成22年度第一次収支補正予算(案) 第5号議案 理事・監事の辞任に伴う補充選任(案) 第6号議案 事務所移転に伴う定款の一部変更(案) その他事項 表彰及び感謝	出席会員数 247名(内、 委任状33 名、書面出 席113名)
第18回総会	3月22日	県福祉センター	<議案事項> 第1号議案 平成22年度事業計画の一部変更(案) 第2号議案 平成22年度第二次収支補正予算(案) 第3号議案 平成23年度事業計画(案) 第4号議案 平成23年度当初収支予算(案) 第5号議案 役員改選(案)	出席会員数 246名(内、 委任状37 名、書面出 席145名)
第1回理事会	6月7日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<議案事項> 1. 平成21年度事業報告(案) 2. 平成21年度収支決算(案) 3. 平成22年度事業計画の一部変更(案) 4. 平成22年度第一次収支補正予算(案) 5. 理事の変更(案) 6. 事務所移転に伴う定款の一部変更(案) 7. 新規入会事業所(案) 8. 総会の開催について(案) 9. 表彰・感謝候補者(案) 10. 監事の辞任に伴う補充選任(案)	出席者 理事19名、 監事1名 (内、委任 状1名)

第2回 理事会	3月2日	ANA クラウンプラザ ホテル神戸	<協議事項> 1. 移行の方針(案) <議案事項> 1. 平成 22 年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成 22 年度第二次収支補正予算(案) 3. 平成 23 年度事業計画(案) 4. 平成 23 年度当初収支予算(案) 5. 未収の取扱(案) 6. 規程の新設及び全面・一部改正並びに廃棄(案) 7. 役員改選(案) 8. 総会の開催(案) 9. 新規入会事業所(案)	出席者 理事 17 名 監事 2 名 (内、委任 状 1 名)
監事監査	5月 24 日	県福祉センター	1. 平成 21 年度事業報告(案) 2. 平成 21 年度収支決算(案)	3名
第1回 正副会長会議	4月 13 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 22 年度部会・委員会構成・役割分担に ついて 2. 他団体の役割分担について ・役員推薦(兵庫県介護保険審査会・阪神南圏域 リハビリテーション連絡協議会) 3. 事業の進め方について 4. 県受託事業 5. 公益社団・一般社団について 6. その他 ・新兵庫県福祉センターについて ・未入会事業所について ・株式会社トヨタレンタリース兵庫からの車椅子寄 贈について ・チリ大地震兵庫県義援金募集について ・平成 22 年度「兵庫県高齢者特別賞表彰」の候補 者推薦等について	7名
第2回 正副会長会議	5月 18 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 21 年度事業報告(案) 2. 平成 21 年度収支決算(案) 3. 平成 22 年度事業計画の一部変更(案) 4. 平成 22 年度第一次収支補正予算(案) 5. 運営委員会・理事会・総会の開催(案) 6. 役員の変更(案) 7. 本会表彰・感謝候補者(案) 8. 新規入会事業所 9. 他団体役員の追加について 10. 公益社団・一般社団について 11. 大地震等自然災害にかかる義援金について 12. 青年部会運営助成事業助成金交付要綱 13. その他 <報告事項> 1. 複数事業所連携事業 2. 新兵庫県福祉センターについて	7名

第3回 正副会長会議	6月7日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<協議事項> 1. 外部監事の辞任に伴う補充選任(案)について 2. 平成23年度社会福祉関係政策提言(予算要望)について 3. 特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員によるケア連携協働のための研修会について 4. その他	7名
第4回 正副会長会議	7月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. 公益社団・一般社団について 2. その他 <報告事項> 1. 自由民主党 予算要望について	8名
第5回 正副会長会議	7月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. 青年部会運営助成事業助成金交付要綱 2. 大地震等自然災害にかかる義援金について 3. 本会会員の取り扱い及び入会促進 4. 県受託事業 5. 予算要望(自由民主党・県・県議会・国) 6. その他 <報告事項> 1. 登記事項について	7名
第6回 正副会長会議	8月31日	県福祉センター	<協議事項> 1. 青年部会運営助成事業助成金交付要綱 2. 大地震等自然災害にかかる義援金について 3. 県受託事業 4. 予算要望(県・県議会・国) 5. その他 <報告事項> 1. 県社協・自由民主党・公明党予算要望報告について 2. 法人のあり方検討委員会報告 3. 研修員会(施設長研修会)について	6名
第7回 正副会長会議	11月9日	県福祉センター	<報告事項> 1. 軽費・ケアハウス部会からの報告 <協議事項> 1. 公益社団・一般社団について ・法人のあり方検討委員会報告 2. 今後の役員会の予定	7名

<p>第8回 正副会長会議</p>	<p>1月11日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><説明事項> 1. 高齢社会課介護保険施設職員等人材確保支援事業・介護雇用プログラム事業 2. 兵庫県地域生活定着支援センター「ウィズ」 <報告事項> 1. 次期介護報酬改定に向けての要望及び提言の報告 2. 退会事業所について <協議事項> 1. 全国老施協 代議員の選出 2. 事務所移転について 3. 県受託事業等について 4. 今後の役員会予定について 5. 公益社団・一般社団について ・説明会報告等 ・法人のあり方検討委員会報告 6. その他 ・ノート型パソコンについて ・県より依頼事項 <見学> 1. 新兵庫県福祉センター</p>	<p>7名</p>
<p>第9回 正副会長会議</p>	<p>2月8日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議題> 1. 平成22年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成22年度第二次収支補正予算(案) 3. 平成23年度事業計画(案) 4. 平成23年度収支予算(案) 5. 未収の取扱(案) 6. 役員の変更(案) 7. 規程の新設及び変更(案) 8. モデル契約書棚卸(案) 9. 運営委員会・理事会・総会の開催(案) 10. 新規入会事業所(案) 11. 引越しについて 12. 文書の取扱について 13. 県受託事業について 14. その他 ・平成23年度・平成24年度各委員改選状況について <協議事項> 1. 移行方針 ・一般社団法人への移行 ・定款 ・役員 ・各ブロックからの質問等</p>	<p>7名</p>
<p>第1回 正副会長会議 打合せ会議</p>	<p>4月1日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項> 1. 平成22年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. 事業の進め方について 4. 県受託事業 5. 公益社団・一般社団について</p>	<p>3名</p>

<p>第1回 正副会長・ ブロック会議</p>	<p>11月9日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公益社団・一般社団について 法人のあり方検討委員会報告 2. 青年部会運営助成事業助成金交付要綱 3. 大地震等自然災害にかかる義援金について 4. 県受託事業 5. 今後の役員会の予定 6. 新福祉センターへの引越しについて 7. その他 ・ラジオ関西より依頼事項について(県社協紹介) <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県知事への予算要望報告について 2. 民主党との政策懇談会報告について 	<p>10名</p>
<p>第1回 運営委員会</p>	<p>6月1日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成21年度事業報告(案) 2. 平成21年度収支決算(案) 3. 平成22年度事業計画の一部変更(案) 4. 平成22年度第一次収支補正予算(案) 5. 理事の変更(案) 6. 本会入会事業所(案) 7. 理事会・総会の開催(案) 8. 表彰・感謝候補者(案) 9. 事務所移転に伴う定款の一部変更(案) 10. その他 <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. ブロック・委員会報告 4. 総会時の協賛企業について 	<p>20名</p>
<p>第2回 運営委員会</p>	<p>2月21日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成22年度事業報告の一部変更(案) 2. 平成22年度第二次収支補正予算(案) 3. 平成23年度事業計画(案) 4. 平成23年度収支予算(案) 5. 未収の取扱(案) 6. 規程の新設及び一部改正並びに廃棄(案) 7. 役員改選(案) 8. モデル契約書棚卸(案) 9. 理事会・総会の開催(案) 10. 新規入会事業所(案) 11. その他 <p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移行方針 ・一般社団法人への移行・定款・役員・各ブロックからの質問等 <p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会・ブロック報告 	<p>21名</p>
<p>第1回 法人のあり方 検討委員会</p>	<p>7月27日</p>	<p>県福祉センター</p>	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公益法人制度改革の目的実現のための骨子 2. 公益社団法人と一般社団法人のメリット・デメリット 3. 平成21年度事業・決算額 4. 移行スケジュール(案) 	<p>6名</p>

第2回 法人のあり方 検討委員会	9月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. 文書課との調整結果 <協議事項> 1. 県への申請書類提出(仮)の内容確認 ・公益目的支出計画 ・定款(案) 2. その他	6名
第3回 法人のあり方 検討委員会	10月5日	県福祉センター	<協議事項> 1. 県への申請書類(仮)提出分 ・公益目的支出計画 ・定款(案) 2. スケジュール 3. その他	6名
第4回 法人のあり方 検討委員会	12月14日	県福祉センター	<報告事項> 1. 定款について <協議事項> 1. 諸規程・様式改定の作業スケジュールについて 2. 諸規程・様式改定にむけての確認作業について 3. その他	6名
第5回 法人のあり方 検討委員会	1月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. 諸規程確認作業終了分について <協議事項> 1. 諸規程・様式改定の作業スケジュールについて 2. 諸規程・様式改定にむけての確認作業について ①旅費規程 ②個人情報保護規程 ③青年部会運営助成事業助成金交付内規(案) ④災害発生時における義援金の支出基準取扱い内規(案) 3. その他	6名
法人のあり方 検討委員会 (県との調整 会議)	11月29日	県庁	<調整事項> 1. 県への申請書類(仮)提出分 ・定款(案) 2. スケジュール	3名

6. 受託事業等

① LSA活動強化事業(受託事業)

LSAの活動支援体制を強化することにより、シルバーハウジング等に入居している高齢者の介護予防・生活支援に資するため、専門相談会及び研修・交流会を開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
委員会 (2回)	5月6日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成21年度事業報告について 2. 平成22年度LSA活動強化事業について <協議事項> 1. 平成22年度事業スケジュールについて ① 委員会開催について ② LSA専門相談会について ③ LSA研修会について 2. 平成23年度予算要望について 3. LSA連絡会より 4. その他	5名

	9月9日	県福祉センター	<報告事項> 1. 第1回、第2回LSA専門相談会について 2. 平成23年度予算要望について <協議事項> 1. 第1回LSA研修会について 2. 第3回LSA専門相談会について 3. 第4回LSA専門相談会について 4. 第2回LSA研修会について 5. その他	6名
--	------	---------	---	----

専門相談会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
専門相談会 (4回)	7月24日	県福祉センター	テーマ『高齢者に関わる上で必要な医療知識 その対応方法』 特別養護老人ホーム清華苑 看護介護養育長 小村一左美氏	34名 (内LSA 21名)
	8月24日	県福祉センター	テーマ『精神的疾患の基礎知識とその対応方法』 相談員 精神保健福祉士 藤田修美氏	44名 (内LSA 23名)
	11月16日	県福祉センター	テーマ『認知症の基礎知識と援助者としての 視点の持ち方』 相談員 特定非営利活動法人 認知症の人と みんなのサポートセンター 代表 沖田裕子氏	42名 (内LSA 24名)
	1月25日	原田の森 ギャラリー	テーマ『認知症の人と家族からのメッセージ』 相談員 公益社団法人 認知症の人と家族の会 兵庫県支部 世話人代表 酒井邦夫氏	31名 (内LSA 23名)

研修会・交流会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修会打ち 合わせ会 (2回)	9月2日	尼崎市 神崎北団地LSA室	第1回LSA研修会打ち合わせ会	5名
	11月4日	尼崎市園田苑	第2回LSA研修会打ち合わせ会	3名

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修会 (2回)	10月28日	県福祉センター	テーマ『記録のい・ろ・は』 講義・演習『記録のい・ろ・は』 NPO法人おおぞら 代表 大川記代子氏	61名 (内LSA 43名)

	3月4日	県福祉センター	<p>テーマ『昨今の高齢者の住まいの現状と シルバーハウジングの今後の展望』</p> <p>講義『昨今の高齢者住宅の現状と課題』 大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 三浦研氏</p> <p>報告『高齢者住宅施策について』 国土交通省住宅局住宅総合整備課住環境整備室 企画専門官 武井佐代里氏</p> <p>座談会『高齢者住宅における生活支援のあり方を 考える』</p> <p>【座談会メンバー】 国土交通省住宅局住宅総合整備課住環境整備室 企画専門官 武井佐代里氏 神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課 霜川卓之氏 社会福祉法人阪神共同福祉会 理事長 中村大蔵氏 社会福祉法人きらくえん 南芦屋浜団地 LSA 増原統氏</p> <p>【コーディネーター】 大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 三浦研氏</p>	62名 (内LSA 31名)
--	------	---------	--	----------------------

② 潜在的有資格者等養成支援事業(補助事業)

人材確保対策事業に係る福祉人材のキャリアアップ支援策の一環として、事業所に従事する者のキャリアアップを支援するための県の助成制度(補助)を利用して下記研修会を実施した。

特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働のための研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働のための研修会 打合せ (2回)	9月14日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研修会趣旨について 2. 研修会プログラム構成について 3. 研修会講師担当割について 4. 研修会開催日時について 5. その他 	9名
	9月27日	県福祉センター	<p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 担当講義概要について 2. 研修会プログラム構成について 3.. その他 	9名
特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員による連携協働のための研修会	11月27日 ～28日	兵庫医療大学	<p>【1日目】(11月27日)</p> <p>講義『特別養護老人ホームにおける看護職員と 介護職員による連携協働の在り方』 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課</p> <p>講義『高齢者及び医療的ケアに関する倫理、法規 及び他職種連携』 特別養護老人ホーム翁寿園 福原幸子氏</p> <p>講義『利用者へ適切なケアを提供するための 具体的な取り組み』 特別養護老人ホームいくの喜楽苑 山元むつみ氏</p> <p>講義『心身機能の加齢性変化と日常生活への影響』 『呼吸器のしくみと働き』 『喀痰を生じる疾患や病態』 『口腔内吸引の技術及び関連するケア』</p> <p>演習『口腔内吸引の技術及び関連するケアの指導』 特別養護老人ホーム緑風の郷 奥奈保美氏 特別養護老人ホーム宝塚あいわ苑 中川文子氏</p> <p>【2日目】(11月28日)</p> <p>講義『研修における人材育成』 特別養護老人ホーム名塩さくら苑 市井純子氏</p> <p>講義『消化器系のしくみと働き』</p>	168名

			『経管栄養が必要となる疾患や病態』 『経管栄養の技術及び関連するケア』 演習 『胃ろうによる経管栄養の技術及び関連するケア の指導』 特別養護老人ホーム光寿園 藤保君子氏 特別養護老人ホームサルビア荘 高本恵美氏 講義 『安全管理体制とリスクマネジメント』 特別養護老人ホーム清華苑 小村一左美氏	
--	--	--	---	--

[以下再掲]

ケアプラン基礎研修会(講義編)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 基礎研修会 (講義編)	7月 29 日	県福祉センター	講義①『ケアプラン作成の理念 ～ケアの意味、ケアの視点として～』 特別養護老人ホーム第二姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム西はりまグリーンホーム 財津直樹氏 説明 『共通事例概要・留意事項』 洲本特別養護老人ホームラガール 佐野由美子氏	66 名
	8月 26 日	かいばら 生涯学習の森	講義①『ケアプラン作成の理念について ～理念に捉えたいケアの視点とは～』 特別養護老人ホーム出石荘 池田和揮氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームあそか苑 保田浩二氏 説明 『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム松寿園 大槻寿美氏	40 名
	9月 30 日	姫路市民会館	講義①『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義②『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームあそか苑 保田浩二氏 説明 『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム松寿園 大槻寿美氏	49 名

ケアプラン研修会(ICF概念編)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 研修会 (ICF概念編)	1月 27 日	県福祉センター	講義 『ICFの概念の“包括的自立支援プログラム(アセスメントツール)”について』 特別養護老人ホーム出石荘 池田和揮氏 共通事例演習	40 名

デイ部会 施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長 研修会	1月 12 日	原田の森 ギャラリー	講義 『今、デイサービスセンターに求められるニーズ とは?』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏	72 名

デイ部会 職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員 研修会 (2回)	8月19日	県福祉センター	講義・グループディスカッション 『デイサービスセンター・老人福祉施設における 介護看護の連携』 特別養護老人ホーム清華苑 看護介護養育長 小村一左美氏	97名
	10月6日	県福祉センター	演習『頭を使う!!』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏 講義①『今 改めて考えてみよう！ デイサービスセンターに求められるニーズとは？』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏 講義②『認知症ケアを考える…ネットワークをとおして』 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法士科 講師 竹内さをり氏	96名

拘束なき介護にむけて職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
拘束なき介護 にむけての 職員研修会	10月22日	県福祉センター	グループディスカッション 発表 研修会のまとめ 拘束なき介護にむけての検討委員会委員長 出口博久氏	89名

介護支援専門員受験準備講習会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護支援 専門員受験 準備講習会	8月7日 ～8日	県福祉センター	【1日目(8月7日)】 『介護保険サービス』 本多間高齢者介護支援センター 主任ケアマネジャー 友清正雄氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識①』 西江井島病院 院長 藤原仁志氏 『高齢者保健医療・福祉の基礎知識②』 長田ケアホーム 施設長 山内賢治氏 【2日目(8月8日)】 『介護保険制度と介護支援』 京都市嵐山地域包括支援センター センター長 真辺一範氏	総数 108名 (会員85名、 非会員23名)

研修委員会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員研修会	10月13日	県福祉センター	『自分力UPの会話術』 夢こらぼ 主宰 松尾やよい氏	81名

軽費・ケアハウス部会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員 研修会	10月26日	県福祉センター	『脳はともだち 人生100歳！ ～認知症予防として回想療法～』 認知症予防教室「一輪会」 田中孝史氏	34名

軽費・ケアハウス部会施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長研修会	12月9日	県福祉センター	『問題発生！その時の対処方法は？』 弁護士 真下美由起氏	37名

養護部会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
新型養護ケアプラン(パッケージプラン)研修会～基礎編～	9月3日	県福祉センター	講義・演習 『パッケージプラン研修会～基礎編～』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	29名
新型養護ケアプラン(パッケージプラン)研修会～習熟編～	11月25日～26日	県福祉センター	【1日目】 講義・演習 『養護老人ホームパッケージプランについて～習熟編～』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	29名
		原田の森ギャラリー	【2日目】 講義・演習 『養護老人ホームパッケージプランについて～習熟編～』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	
職員研修会	11月18日	県福祉センター	『精神障害を持つ高齢者への支援』 佛教大学 保健医療技術学部 作業療法学科 教授 漆葉 成彦氏	49名 (養護 36名)

養護部会施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長研修会	1月18日	兵庫県県民会館	講義『大規模修繕・補助金について』 兵庫県健康福祉部高齢社会課高年施設係 係長 向田 憲司氏 報告『養護部会報告』 養護部会長 細谷琢郎氏 講義『養護老人ホーム今後の役割(可能性)について』 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留 志郎氏	32名

施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長研修会	3月1日～2日	ANA クラウンプラザ ホテル神戸	【1日目(3月1日)】 〈基調報告〉 (社)兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳氏 『特別養護老人ホームにおける介護職員の たん吸引等について』 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課	109名

⑤ 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業(受託事業)

災害復興公営住宅等に居住する被災高齢者等のうち、特に見守りが必要な高齢者について、シルバーハウジングでは「生活援助員(LSA)」が、災害復興公営住宅等では「高齢世帯生活援助員(SCS)」等が対応しているが、夜間・休日の対応が必ずしも十分でないことを踏まえ、フリーダイヤルによる夜間・休日「安心ほっとダイヤル」事業を開設し、被災高齢者の見守り体制のさらなる充実を図った。

相談実績

相談窓口設置地区	登録者数	相談件数
阪神地区	629 世帯	13 件
淡路・東播磨地区	91 世帯	
合計	720 世帯	13 件

⑥ キャリアパス要件に関する講習会[再掲](受託事業)

介護職員処遇改善交付金の交付に関し、事業所は雇用する全ての介護職員に対しキャリアパスに関する要件等を定め、平成 22 年9月末までに県へ届け出る必要があった。このため、交付要件の周知とその普及・定着を図るための講習会を開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
キャリアパス要件に関する講習会(2回)	7月21日	丹波の森公苑ホール	テーマ『キャリアパス要件 活用のポイント ～ただの届出で終わらせないために～』 株式会社エイデル研究所 福祉経営支援部 部長 小林雄二郎氏	700 名
	8月2日	神戸国際会館こくさいホール		2,100 名